2025年3月期第2四半期(中間期)
決算説明資料

プライム市場 5121
藤倉コンポジット株式会社



2024年12月6日

代表取締役社長執行役員　森田　健司

FUJIKURA COMPOSITES



目次

決算情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

業績予想・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

中期経営計画の進捗状況・・・・・・・・・・13

企業価値向上の実現の取組み

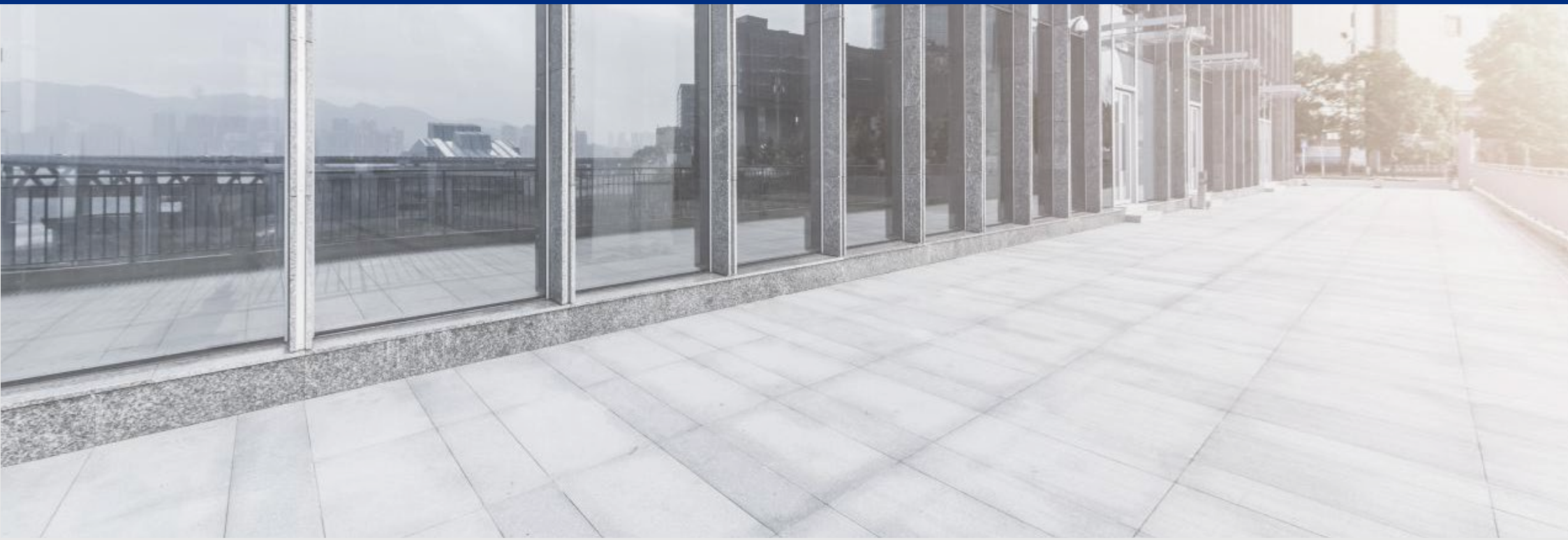
・稼ぐ力の強化・・・・・・・・・・・・・・15

・新成長戦略　・・・・・・・・・・・・・・25

・株主還元方針・・・・・・・・・・・・・・30

・投資家とのコミュニケーション向上・・32

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED



Ⅰ．2025年3月期第2四半期（中間期）

FUJIKURA COMPOSITES

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

決算ハイライト

事業に関する業績要因	売上高	■ 自動車・住宅設備関連市場の回復が進み増収 ■ ゴルフシャフト主力モデルが好調維持、新製品効果も加わり大幅増収
	営業利益	■ 自動車・住宅設備関連は製造コスト上昇に価格転嫁が追い付かず、営業損失 ■ ゴルフシャフトはグローバルで好調に推移し大幅増益
2025年3月期中間期 事業環境		■ 自動車・住宅設備関連は市場の在庫調整が解消され回復傾向 ■ ゴルフシャフト関連は好調を維持
2025年3月期中間期 特殊要因		■ 特定投資株式の売却により279百万円の特別利益を計上

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

2025年3月期第2四半期(中間期) 実績

（単位：百万円）

	成長期の推移				
	2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	2025年3月期 2Q実績	前々年同期比（%）	前年同期比（%）
売上高	20,284	19,365	**20,181**	▲0.5%	+4.2%
営業利益	2,171	2,220	**2,369**	+9.1%	+6.7%
営業利益率（%）	10.7%	11.5%	**11.7%**	+1.0pt	+0.2pt
当期純利益	2,101	2,244	**2,241**	+6.7%	▲0.1

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

主要セグメント別実績

（単位：百万円）

成長期の推移

セグメント		2023年3月期 2Q実績	2024年3月期 2Q実績	2025年3月期 2Q実績	前々年同期比（%）	前年同期比（%）	トピックス
産業用資材	売上高	11,569	10,753	**11,718**	+1.3%	+9.0%	• 工業用品部門は、国内・海外共に自動車関連部品の受注回復が進み、また住宅設備関連も市場の緩やかな回復となり増収となるも、国内の製造コスト等の上昇に対し価格転嫁が追いつかず営業損失 • 制御機器部門は、半導体市場は一部ユーザーでの流通在庫調整の影響を受けたが、活発な生成AI向け設備投資により、国内・海外向け共に堅調に推移 医療市場は在庫調整及び製品立上げ遅れが続き減収となり、全体では増収減益
	営業利益	40	115	**15**	▲62.5%	▲86.7%	
	営業利益率	0.4%	1.1%	**0.1%**	▲0.3pt	▲1.0pt	
引布加工品	売上高	2,309	2,488	**1,469**	▲36.4%	▲41.0%	• 引布部門は、自動車関連や電気・電子分野向け製品が堅調に推移したが、製造コスト等の増加により増収減益 • 加工品部門は、防衛関連製品の受注は増加したが、舶用品の受注低迷により売上は減少し、営業損失 • 印刷材料部門は、2024年3月期をもって事業撤退
	営業利益	44	67	**▲63**	-	-	
	営業利益率	1.9%	2.7%	**-**	-	-	
スポーツ用品	売上高	6,220	5,949	**6,821**	+9.7%	+14.7%	• ゴルフ用カーボンシャフト部門は、米国および国内男子プロで使用率No.1の『VENTUS』、国内女子プロで圧倒的な使用率 No.1を誇る『SPEEDER NX』等の主力モデルがグローバルで好調を継続し、増収増益 • アウトドア用品部門は、アウトドア・キャンプ用品市場において今春から続く流通在庫過多の影響で主力のシューズ販売が伸び悩み、さらに円安による仕入価格高騰の影響を受け、減収減益
	営業利益	2,340	2,327	**2,752**	+17.6%	+18.3%	
	営業利益率	37.6%	39.1%	**40.3%**	＋2.7pt	＋1.2pt	

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

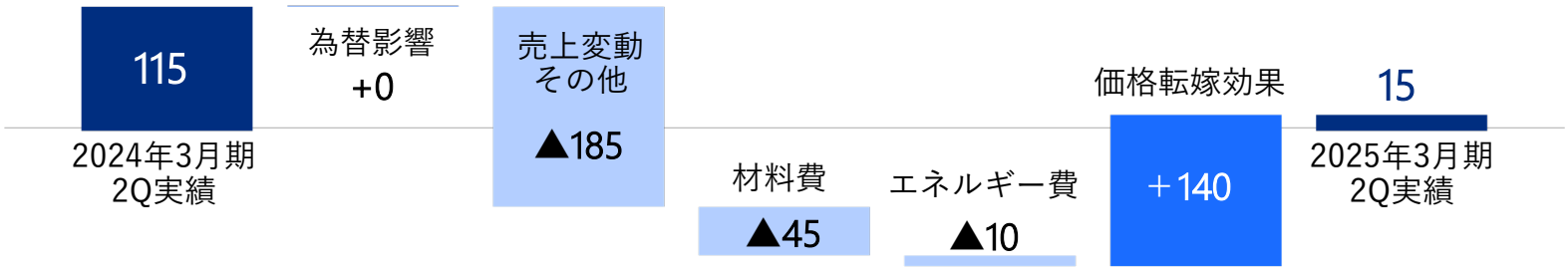
2025年3月期第2四半期(中間期) セグメント別 営業利益の増減要因分析

2024年3月期 2Q実績 ⇒ 2025年3月期 2Q実績　為替レート：変動レートを使用　（単位：百万円）

産業用資材

前年同期実績比

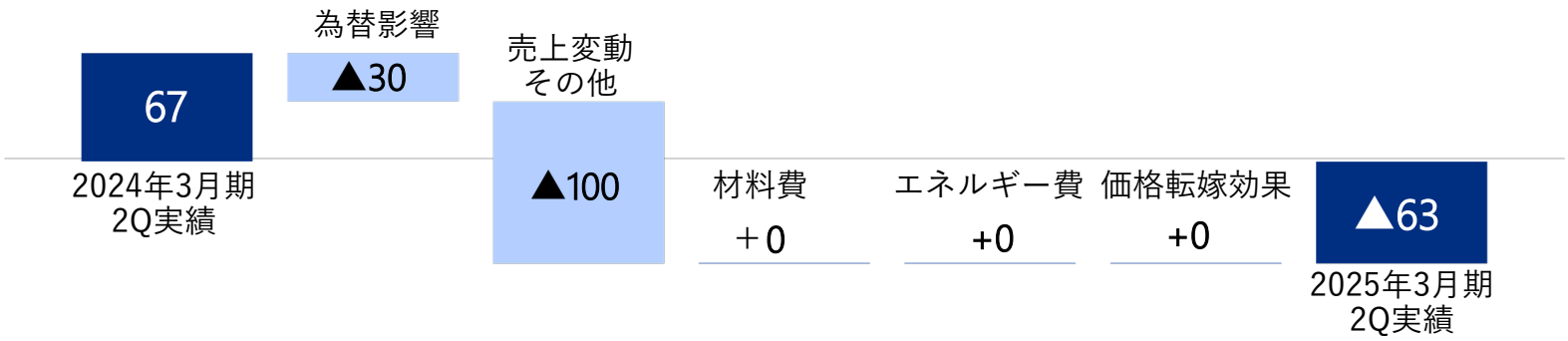
▲100百万円



引布加工品

前年同期実績比

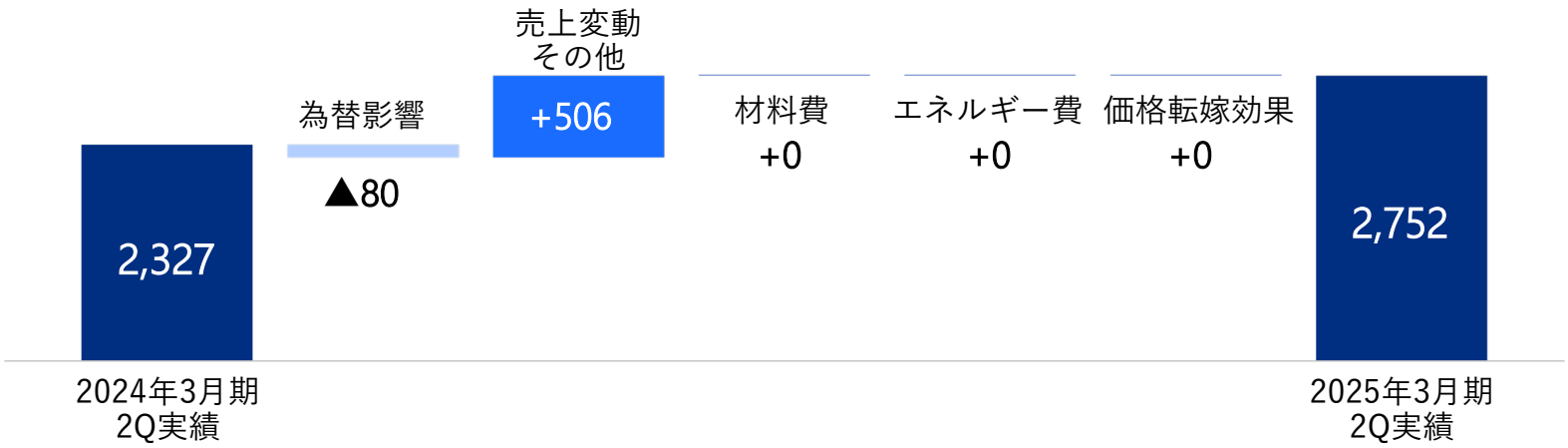
▲130百万円



スポーツ用品

前年同期実績比

+425百万円



Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

連結貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部	2024年3月期		2025年3月期2Q			内容
	期末残高	構成比	期末残高	構成比	増減額	
流動資産	28,515	64.7%	**29,243**	63.9%	+728	
現金及び預金	10,228	23.2%	**10,302**	22.5%	+73	
受取手形及び売掛金	10,166	23.1%	**10,392**	22.7%	+225	• シャフト売上増加及び円安による為替換算影響
商品及び製品	3,957	9.0%	**4,034**	8.8%	+77	• 親会社及び製造子会社のシャフト増産に伴う増加
貸倒引当金	▲49	-	**▲31**	-	+17	
固定資産	15,560	35.3%	**16,518**	36.1%	+957	
有形固定資産	11,952	27.1%	**12,896**	28.2%	+944	• 小高工場再整備投資等
無形固定資産	171	0.4%	**228**	0.5%	+57	
投資その他の資産	3,436	7.8%	**3,393**	7.4%	▲43	
資産合計	44,075	100.0%	**45,762**	100.0%	+1,686	

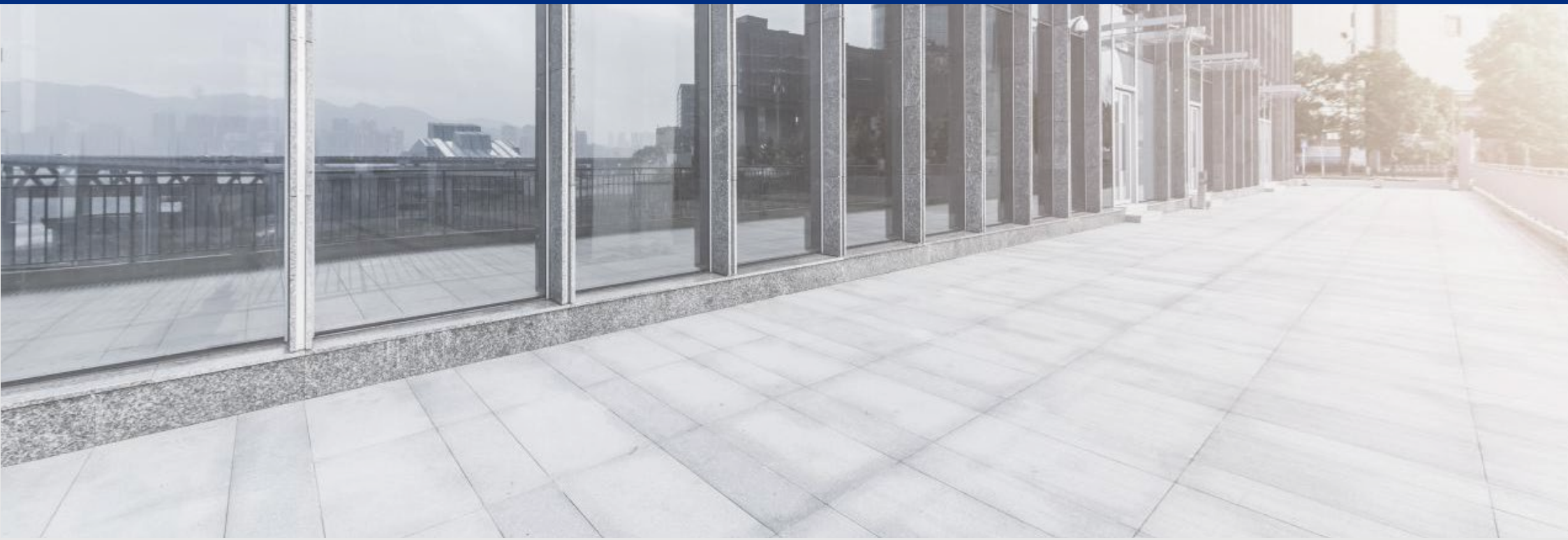
Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

連結貸借対照表

（単位：百万円）

負債の部	2024年3月期		2025年3月期2Q			内容
	期末残高	構成比	期末残高	構成比	増減額	
流動負債	5,382	12.2%	**6,616**	14.5%	+1,233	
支払手形及び買掛金	2,320	5.3%	**2,468**	5.4%	+147	
短期借入金	-	-	**800**	1.7%	+800	・シンジケートローン(自己株式取得)
未払法人税等	8	0.02%	**453**	1.0%	+444	
固定負債	2,194	5.0%	**5,591**	12.2%	+3,396	
長期借入金	-	-	**3,200**	7.0%	+3,200	・シンジケートローン(自己株式取得)
繰延税金負債	716	1.6%	**755**	1.7%	+38	・株式給付引当金(ESOP)
負債合計	7,576	17.2%	**12,207**	26.7%	+4,630	
純資産合計	36,499	82.8%	**33,554**	73.3%	▲2,944	・自己株式取得による減少及び当期利益計上による増加
資産合計	44,075	100.0%	**45,762**	100.0%	+1,686	
自己資本比率	82.8%	-	**73.3%**	-	▲10.5pt	

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED



Ⅱ．2025年3月期業績予想

FUJIKURA COMPOSITES

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

2025年3月期 業績予想の上方修正

- 産業用資材セグメントではアジア市場の好調を見込む
- ゴルフ市場の在庫調整が落ち着く見込み⇒新製品投入で需要を喚起する

（単位：百万円）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 期初予想	2025年3月期 予想（修正）	前期比（%）	前期比 増減額
売上高	37,785	39,200	40,000	+5.9%	+2,215
営業利益	3,624	3,900	4,600	+26.9%	+976
営業利益率（%）	9.6%	9.9%	11.5%	+1.9Pt	-
当期純利益	3,252	3,200	3,800	+16.9%	+548

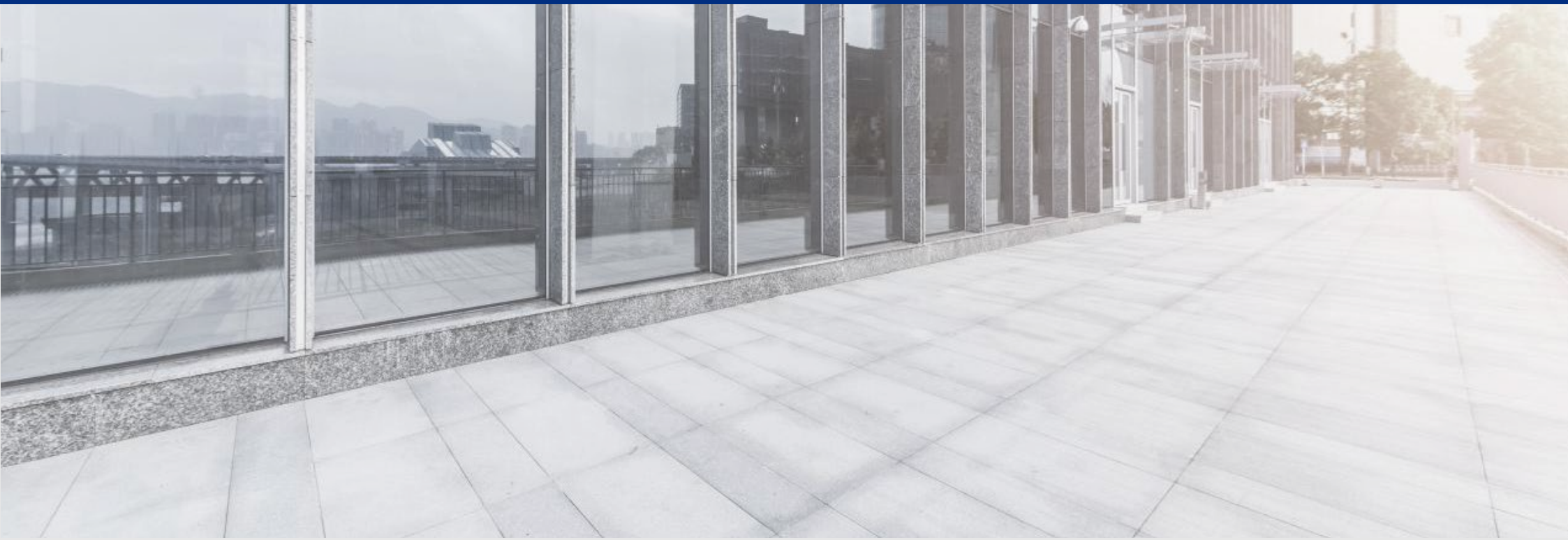
Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

主要セグメント別予想値

（単位：百万円）

セグメント		2024年3月期 実績	2025年3月期 期初予想	2025年3月期 修正予想	前期比（%）	トピックス	
産業用資材	売上高	21,776	22,500	23,188	+6.5%	■ 自動車	中国市場の好調および、国内受注の回復を見込みつつ、電動化市場向け製品群の拡販、新規受注を進める
	営業利益	258	700	434	+68.2%	■ 住設	空圧機器関連の低調は継続するが、ガス関連の下期回復、OA・電子部品関連の好調を見込む。拡販活動、価格転嫁を継続する
	営業利益率	1.2%	3.1%	1.9%	+0.7pt	■ 制御	液晶市場の回復遅れ継続を見込む。半導体市場の在庫調整は継続するが、空圧機器の新規受注および、除振台の受注増を見込む
						■ 医療	メディカル機器の低調が継続する。部材関連の立上げ遅れが見込まれるが、早期立ち上げに注力する
引布加工品	売上高	4,949	3,700	3,555	▲28.2%	■ 引布	自動車向けおよび汎用のゴム引布が好調に推移する見込み。新規顧客開拓を進める
	営業利益	▲43	54	▲52	-	■ 加工品	国内向けは、小型船舶用浮器の立ち上げが遅れる見込みではあるが、ヘリウムを貯蔵するガスバッグの拡販に注力する
	営業利益率	-	1.5%	▲1.5%	-		
スポーツ用品	売上高	10,714	12,500	12,895	+20.4%	■ シャフト	新製品効果およびプロモーション活動で需要が活性化し、増収増益の見込み
	営業利益	3,989	4,200	5,015	+25.7%	■ アウトドア	メーカー在庫過多の状況により、引き続き厳しい状況が続く ブランドの認知度を高めるとともに新規顧客開拓を進める
	営業利益率	37.2%	33.6%	38.9%	+1.7pt		

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED



III. 中期経営計画の進捗状況

FUJIKURA COMPOSITES

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

中期経営計画の進捗状況

売上高

スポーツ用品と産業用資材によって下支え

- 印材部門からの撤退に加え、小型浮器販売数量減少
- 産業用資材は国内の在庫調整の影響を受けるも、中国市場の好調によって下支えされる
- スポーツ用品は在庫調整あるも好調を見込む

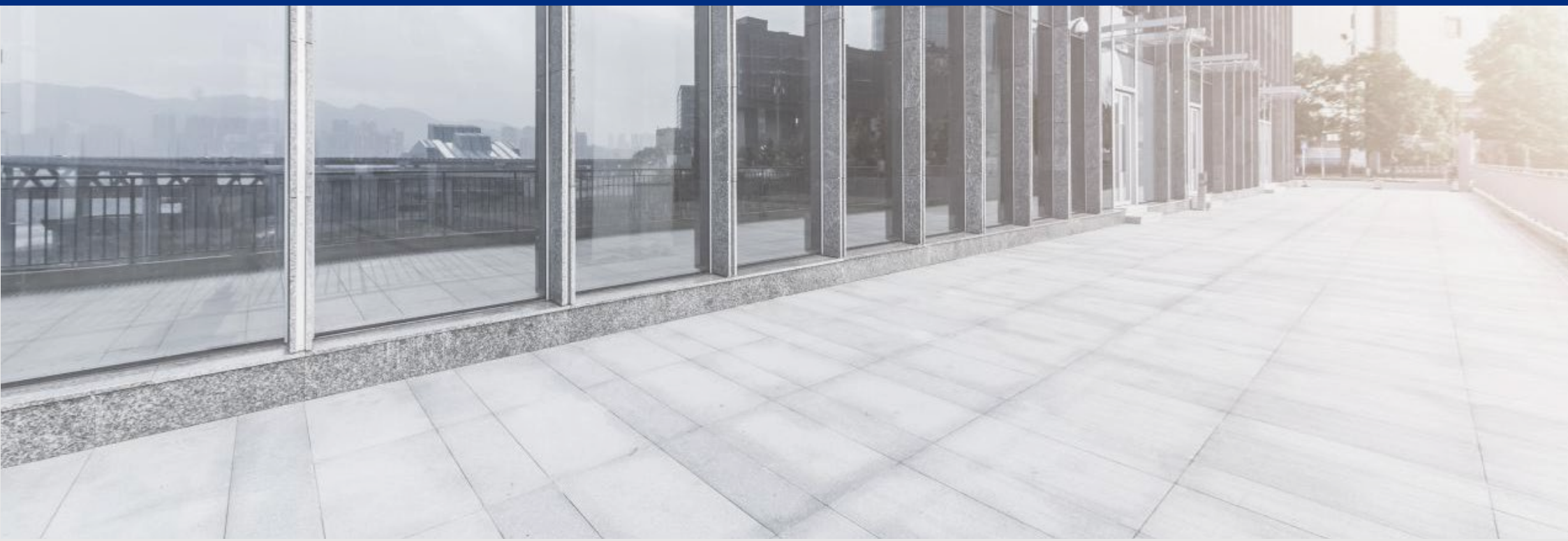
営業利益

スポーツ用品の好調により利益確保

- 産業用資材は、国内の住宅設備、半導体関連の在庫調整局面継続も、中国市場の好調を見込む
- 引布加工品セグメントは、印材部門の撤退および、小型浮器低調の販売数量減少の影響を受ける
- スポーツ用品は好調継続によって利益確保

単位：百万円	計画　※2024年6月発表値			進捗状況【実績・予想】			
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率	売上高対計画進捗率
2023年3月期（144期実績）	40,687	4,432	10.9%	40,687	4,432	10.9%	-
2024年3月期（145期実績）	37,785	3,624	9.6%	37,785	3,624	9.6%	-
2025年3月期（146期）	39,200	3,900	9.9%	40,000	4,600	11.5%	102.0%
3年間合計	117,672	11,956	平均10.1%	118,472	12,656	平均10.6%	100.6%

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED



Ⅳ. 企業価値向上の実現に向けた取り組み

- 稼ぐ力の強化

【 進捗状況】

- 新成長戦略
- 新株主還元方針
- 投資家とのコミュニケーション向上

FUJIKURA COMPOSITES

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

稼ぐ力の強化（全体像）

「稼ぐ力の強化」投資金額 ： 70億円

	投資金額	進捗（金額）	具体的施策	完了	完了予定
各事業の資産見直し	約42億円	60%	• 小高工場再稼働に向けた新規投資 ・・・・・・・・・・・・トピックス①	済	2026年3月
			• 印材部門からの撤退	済	
			• 資本コストを上回った付加価値を生み出しているか再検証	ー	
			• 生産設備や生産拠点の統廃合を進め、資産のスリム化・強靭化を実行	ー	
スポーツ用品セグメントの領域拡大	約 7 億円	95%	• あらゆる産業分野の軽量化要求にこたえるFRP製品の拡大	済	2025年3月
			• ゴルフシャフト製造ラインの強化、各種FRP製品の一貫生産ラインの構築 ・・トピックス②	済	
			• キャラバンシューズのブランド力を生かし、新市場へ展開	ー	
人的資本への投資	約14億円	45%	• 事業環境の変化に対応した目指す人材ポートフォリオの実現	ー	2026年3月
			• エンゲージメント向上に対する取り組みの強化	済	
			• 評価制度の見直しを行い、新たな分配制度として従業員株式報酬制度を導入	ー	
			• 従業員のキャリア開発支援に向け、教育訓練や海外経験の機会提供	ー	
			• 障害者雇用制度の拡充（特例子会社の有効活用）	済	
			• 従業員持株会奨励金の増額	済	
			• 働き方改革の推進及びオフィス機能の強化 ・・・・・・・・・・・・トピックス③	済	
DX投資・自動化への投資	約 6 億円	40%	• DXを導入し、業務の生産性向上と経営のスピードアップ ・・・・・・・・・トピックス④	ー	2026年3月
			• 生産工程の自動化を推進し、コスト競争力の向上 ・・・・・・・・・・・トピックス⑤	ー	
ガバナンス強化への投資	約 1 億円	60%	• ガバナンス高度化に向け、取締役会及び経営会議のアジェンダ再設定	済	2025年3月
			• 実効性評価の第三者機関の関与	済	
			• サイバーセキュリティリスクへの取組み ・・・・・・・・・・・・トピックス⑥	ー	

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

稼ぐ力の強化：各事業の資産見直し・・・トピックス①

小高工場再稼働に向けた新規投資

東日本大震災による原発事故の影響により操業を停止していた小高工場を再稼働いたしました。
既存建屋２棟の改修を行い、１棟ではゴルフシャフト及び CFRP製産業用品の開発、製造を行います。
また、もう１棟では液晶・半導体製造装置を中心とした、構造部材の加工及び組立を行います。
再稼働により地域の復興、活性化に微力ながらも貢献してまいります。

スポーツ用品

FCF棟 (Fujikura Composites Factory)



【投　資　額】約7億円
【稼働開始】2024年9月

産業用資材（制御機器）

CMC棟 (Control equipment Manufacturing Center)



※現在建設途中

【投　資　額】約22億円
【稼働開始】2025年2月以降順次稼働予定

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

稼ぐ力の強化：スポーツ用品セグメントの領域拡大・・・トピックス②

FUJIKURA COMPOSITES

1 ゴルフシャフト製造ライン強化

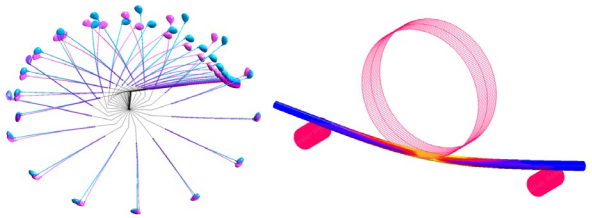
小高工場へ移設

- ゴルフシャフト製造ラインを再構築し高機能製品に特化
- 試打場併設の対外的なアピール機能を持った工場を実現

強度計算～試作～特性評価を自社内で一貫して行えることこそが強み

■ 解析・強度計算

- 解析専門部門によるCAE解析
- 独自に取得した材料物性

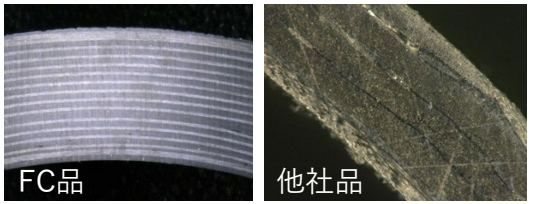


■ 積層設計・成形

- ゴルフシャフトで培った
  高い成形技術と安定性材料メーカーとの信頼関係



シャフト断面の比較



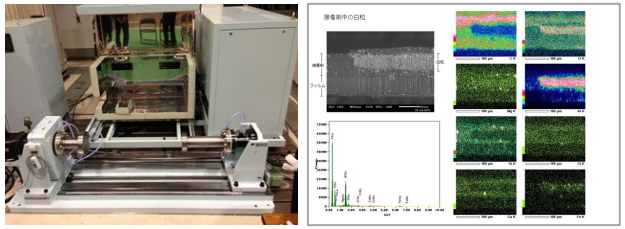
■ 組立て

- ゴム製品の技術を応用した
  高度な接着技術



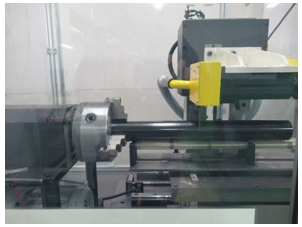
■ 試験・分析

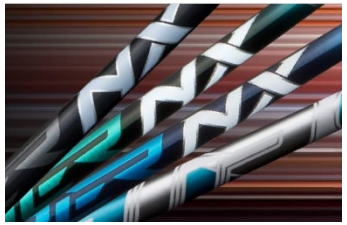
- 多彩な試験・分析が
  自社内で実施可能



■ 生産能力

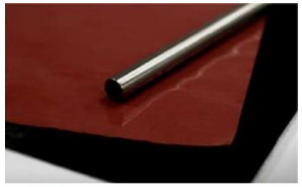
- ゴルフシャフトの生産能力
- 海外工場を保有している=大量生産，低価格

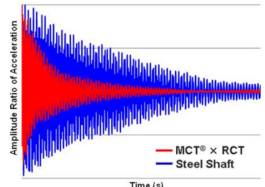




■ 新技術開発能力

- 金属・ゴム等 異材一体成形
- 客先要求への対応力





Metal Composite TECHNOLOGY　Rubber Composite TECHNOLOGY

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

稼ぐ力の強化：スポーツ用品セグメントの領域拡大・・・トピックス②

2 ゴルフシャフト新製品紹介

国内女子ツアーでNo.1*の使用率を誇る　*ダレルサーベイ調べ
【SPEEDER NX】シリーズの“第4弾”が新登場

SPEEDER NX VIOLET

NXシリーズがさらに進化

ヘッドスピードアップを実現した新テクノロジー「DHX」を搭載
中調子ながらボールのつかまり、上がりやすさも追求

- カーボンシャフト本体に対してカーボン繊維の角度が45度以外の“第２のバイアス層”を新たに積層するテクノロジー「DHX」を採用し、ヘッドスピードの最大化に成功
- 「VARIABLE TORQUE CORE」により、初代NXよりも先端と手元のねじり剛性を10％アップ
- より球がつかまる高強弾道を実現



一般的なシャフト

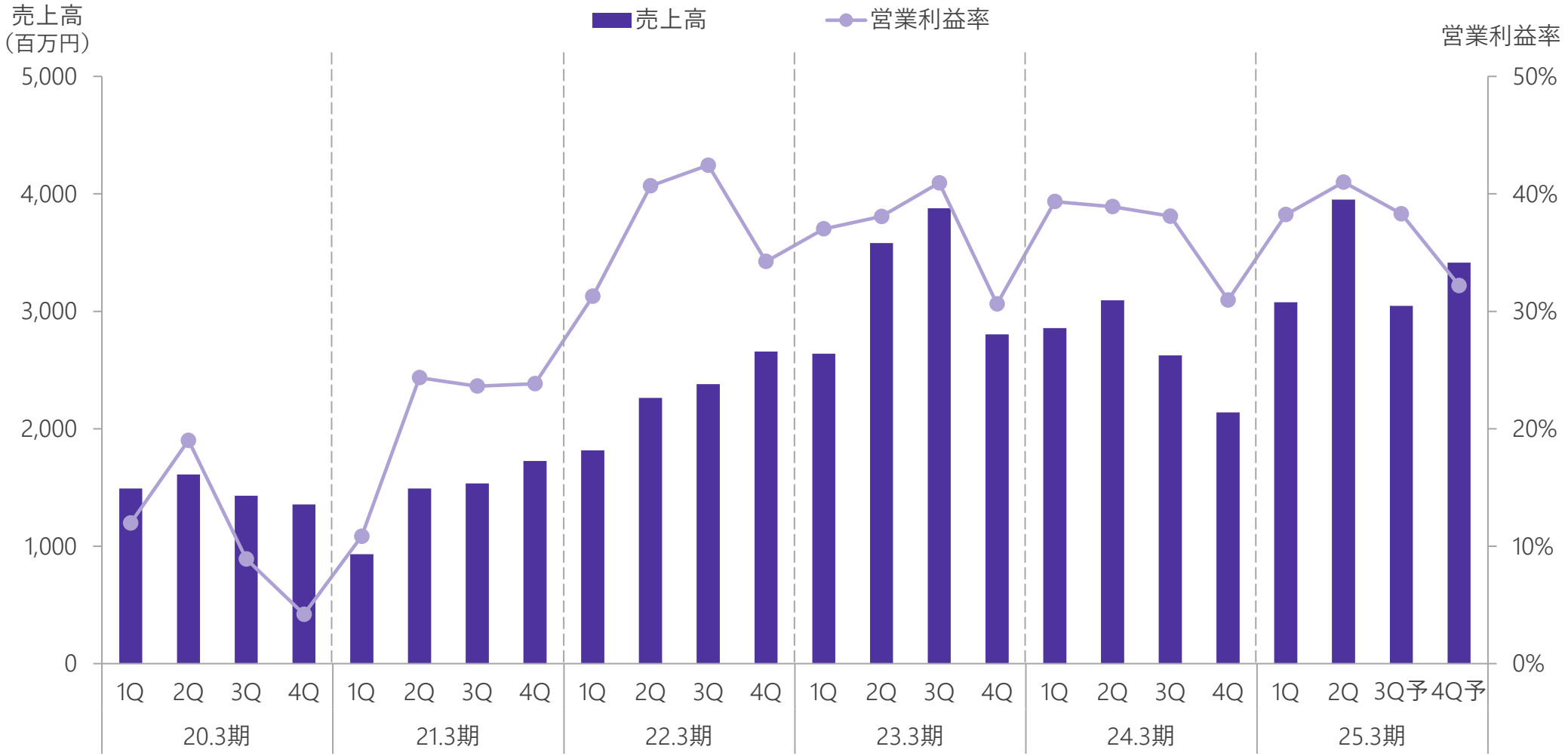
カーボンシャフト本体に対してカーボン繊維の角度が0度の「ストレート層」、90度の「フープ層」、45度の「バイアス層」を積層

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

稼ぐ力の強化：スポーツ用品セグメントの領域拡大・・・トピックス②

3 スポーツ用品セグメント成長推移

- 右肩上がりで急成長
- 自社ブランドのアフタマーケット市場で高い利益率を確保



Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

稼ぐ力の強化：人的資本への投資・・・トピックス③

働き方改革の推進及びオフィス機能の強化

■ 2024年11月に有明から五反田へ本社を移転

働き方改革の推進及びオフィス機能の強化と業務効率の向上のため、11月末に有明から五反田へ本社を移転いたしました。
フジクラゴルフクラブ相談室五反田店（2025年2月上旬オープン予定）を併設し、お客様対応が可能なスペースの設置、新しい発送や企画を 生み出しやすいスペースの確保、社員のコミュニケーションがとりやすい労働環境を重視した新しいオフィスを創ることを目指してまいります。

（新）五反田本社

【住　　所】　〒141-0031
東京都品川区西五反田8-4-13
五反田JPビルディング4F

【アクセス】　五反田駅　　徒歩5分
大崎駅　　徒歩7分
大崎広小路駅　徒歩1分

【稼働開始】　2024年11月25日



Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

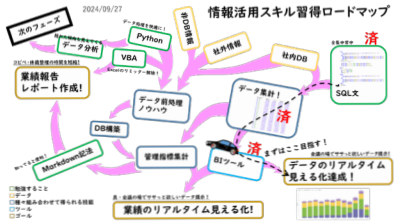
稼ぐ力の強化：DX投資･自動化への投資・・・トピックス④

DXを導入し、業務の生産性向上と経営のスピードアップを進める

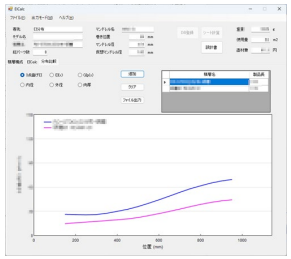
- ERP導入によって得られる情報資源の利活用を推進
- 情報の収集や分析技術の向上技術開発やデータリテラシー向上の取り組みを実施
- ローコード・ノーコードツール導入と大規模言語モデル環境構築を推進中

当社の定義するビジネスインテリジェンスの4要件と関連の取り組み

データリテラシー向上勉強会



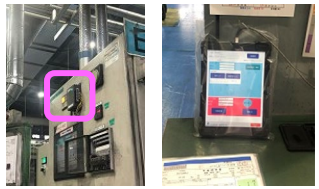
数値シミュレーションベース
ゴルフ用CFRPシャフト
迅速設計システム



業務改革プロジェクト



加須工場レトロフィット型
情報収集IoTシステム



BIツールによる業績の見える化



ローコード
ノーコードツール導入

ローカルLLM環境構築

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

稼ぐ力の強化：DX投資･自動化への投資・・・トピックス⑤

生産工程の自動化を推進し、コスト競争力の向上を図る

■ FC技術とテクノロジーサービス社のコラボレーションによる自動化設備製作

ゴムバリ除去装置

これまで

人手によるバリ仕上げ

■ 自社内の生産技術部

レーザー照射による
ゴムバリ除去の方法
を検討

■ 子会社である㈲テクノロジーサービス（TS社）

自動で加工できる装置
を設計、製作

FC生産技術

レーザーによる
バリ除去方法を確立

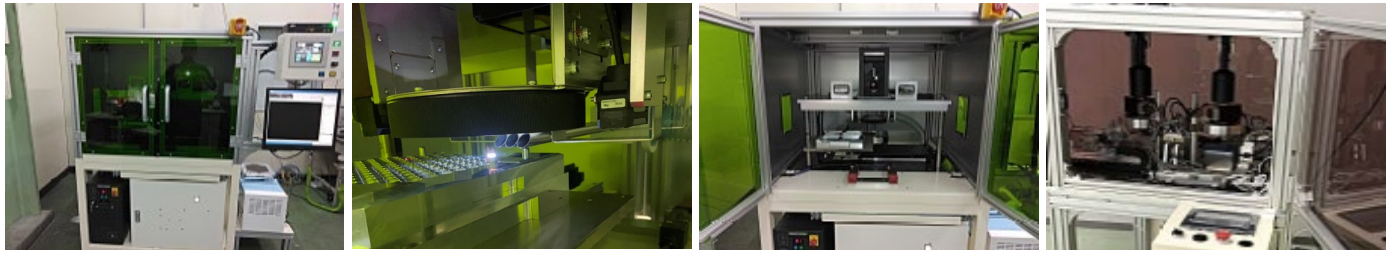
×

TS社

高精度なワーク搬送を実現し
連続レーザー処理を可能に

効果

- 機械化により仕上げ位置精度が向上＝品質安定
- 大幅な生産性向上により処理能力UP
- バリ仕上げ処理時間を約1/4に削減



Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

稼ぐ力の強化：ガバナンス強化への投資・・・トピックス⑥

サイバーセキュリティリスクの取組み

NGAV（次世代型アンチウィルス）の導入

NGAV（Next Generation Anti Virus）

・・ゼロデイ攻撃やマルウェアの変種を検出するために、行動分析や機械学習を活用した次世代型のアンチウィルスを導入

経緯

サイバー攻撃がますます高度化しているため、従来の方法では新しい脅威に対処できない。そのため、導入を決定

EDRの導入

EDR（Endpoint Detection and Response）

・・リアルタイムでエンドポイント（Endpoint）の挙動を監視し、異常なアクティビティを検出（Detection）

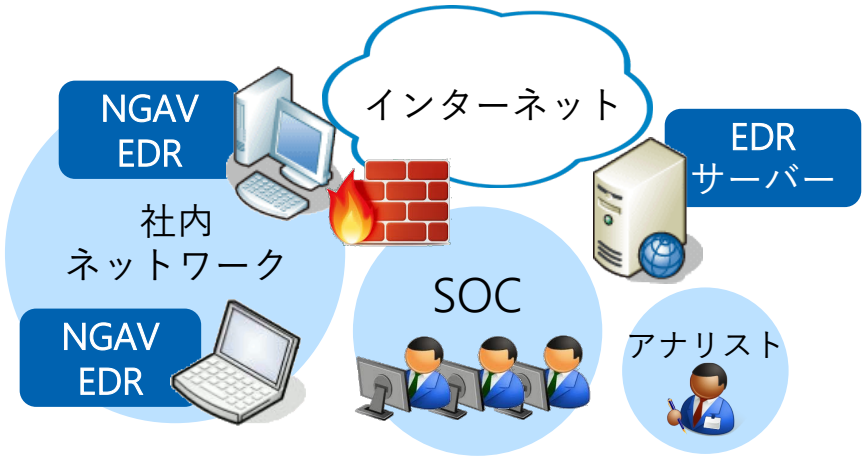
従来のアンチウイルスでは見逃される可能性のある高度な脅威（ゼロデイ攻撃やランサムウェアなど）に対処（Response）

SOCの活用

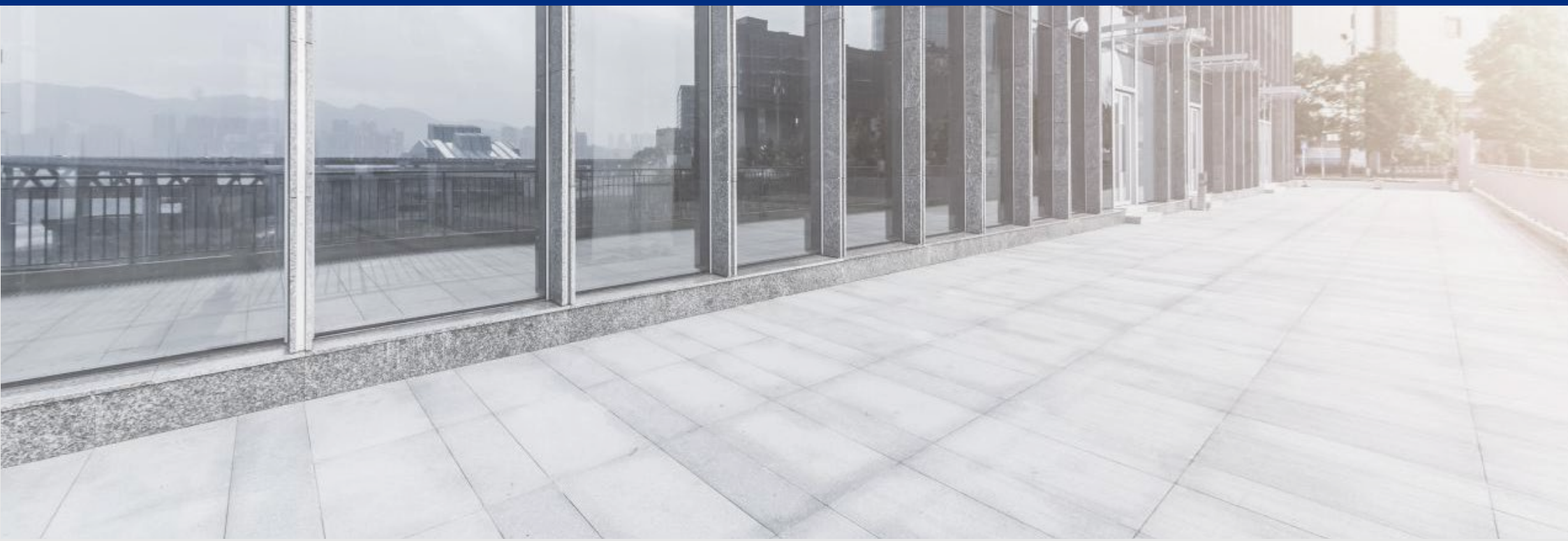
SOC（Security Operation Center）

・・24時間365日、常にシステムを監視し、脅威や異常なアクティビティをリアルタイムで検出するアウトソースのサービスを活用

- このサービスでは、EDRの検知結果を利用し、日夜PCの監視を実施
- 事故発生時には、アナリストの協力も仰ぎ、適切な指導を受ける



Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED



Ⅳ. 企業価値向上の実現に向けた取り組み

- 稼ぐ力の強化
- 新成長戦略
- 新株主還元方針
- 投資家とのコミュニケーション向上

【 進捗状況】

FUJIKURA COMPOSITES

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

新成長戦略（全体像）【再掲】

「新成長戦略」投資金額 ： 45億円

成長分野へのリソース再配分

5つの分野を成長分野と位置付け、組織の見直しを行い、経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報を再配置を実行

次世代自動車 / 半導体 / 医療 / 新エネルギー / 安全（救命）

- 自動車の電動化市場へのアプローチを強化
- 液晶・半導体関連の拡大
- 医療関連事業の強化
- 液体検知センサの開発を強化
- 改良型内部収容型救命浮器を開発

→トピックス①②

新規分野への投資

積極的に資金配分を実施。事業ポートフォリオの変革に取組み、将来のシナジー効果創出のM&Aやスタートアップ・大学研究機関との提携など幅広く検討

M&A / スタートアップ / 大学研究機関との産学提携

- Fu Yu社との業務提携により、シナジー効果創出
- スタートアップとのオープンイノベーションを通じて新規分野への拡大
- 当社主導による学術会へのアプローチ強化

→トピックス③

R＆Dへの投資

将来に向けた基礎研究の充実と開発体制の強化

- AIやMI（ Materials informatics ）を応用した基礎研究の充実により、開発期間の大幅な短縮を実現
- 社内エントリー制度を活用した開発体制の創設

経営戦略委員会（仮称）

中長期的で幅広い多様な観点から株主視線で重要な経営テーマについて検討

- 取締役会の実効性評価
- 中長期経営戦略
- M＆A や事業提携などグループ成長戦略
- サスティナビリティ関連投資

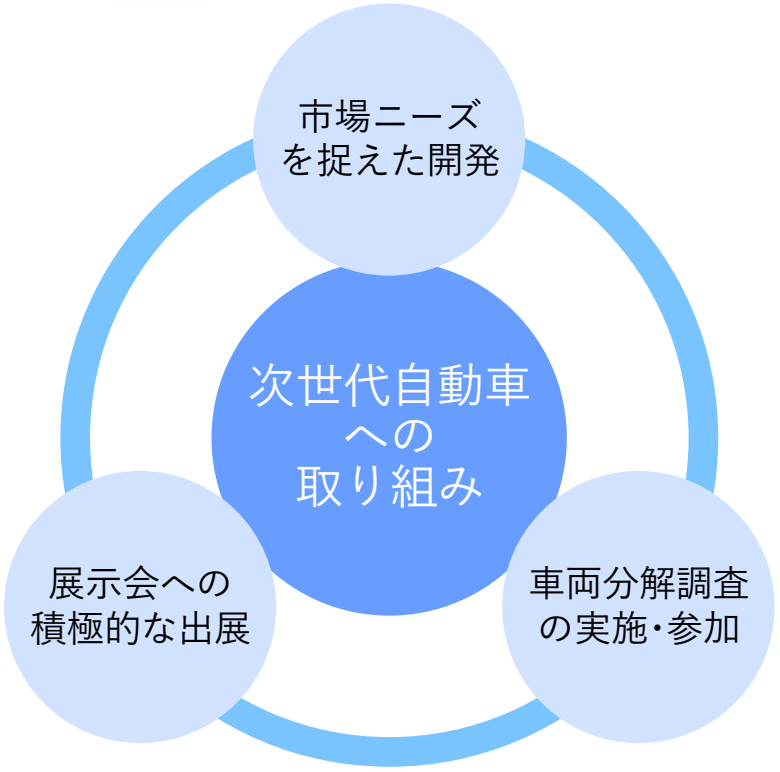
Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

新成長戦略：成長分野へのリソース再配分・・・トピックス①

自動車の電動化市場へのアプローチを強化



- 自動車の電動化に伴う市場ニーズを捉えた技術開発及び拡販に注力中
- PHEV・BEV・FCVをメインターゲットとした構成ユニットごとのアプローチを実践



市場ニーズを捉えた開発

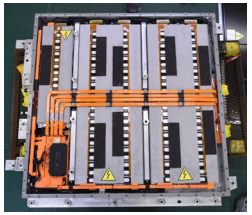
- お客様のニーズに自社のコア技術を結び付け、車載バッテリー向けとして、耐火断熱性能に加え、振動対策を盛り込んだ新技術・新アイテムの材料開発(FleGuard)を推進

FleGuard

高機能化

車両分解調査の実施

- 車両分解調査を積極的に行うことで、最新の車両の構造や各ユニットの機能について理解を深め、技術的な提案を実施



展示会への積極的な出展

- 北米開催のバッテリーショーに初出展
- 自動車の電動化に追従するために、提案型の活動を強化



Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

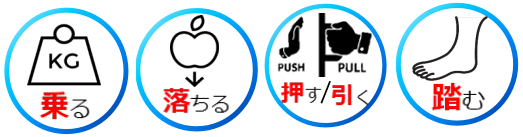
新成長戦略：成長分野へのリソース再配分・・・トピックス②

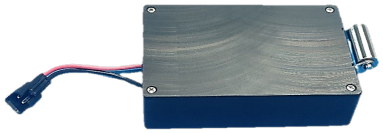
液体検知センサの開発を強化

接触検知センサ　開発中

- レバー部(センサ本体銀色箇所)への物体接触を外部電源不要で検知
- 検知させる荷重や接触の強さは、ご要望に応じて調整(設計)
- レバー部にワイヤーを付けることでワイヤーの引張りも検知可能

想定される検知モード





接触センサ
（レバー部への荷重を検知するセンサ）



工場ラインでのトラブル対策

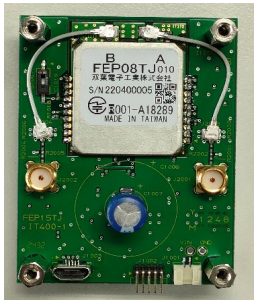
長距離無線LPWA(Wi-SUN)、920MGHz帯無線　開発中

屋外向けセンサとして
『Wi-SUN』と『920MHz帯』
のPoC機を作製

従来の液体検知センサ
（Bluetooth）では最大30m
の通信距離であるのに対し、
数kmの通信距離が可能に



Wi-SUN

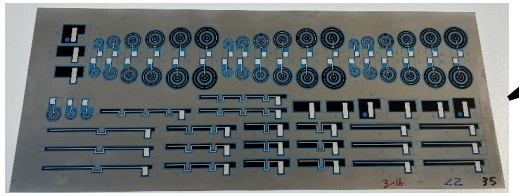


920MHz帯

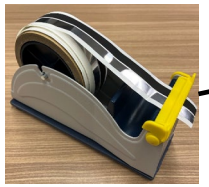
フレキシブルセンサ　開発中



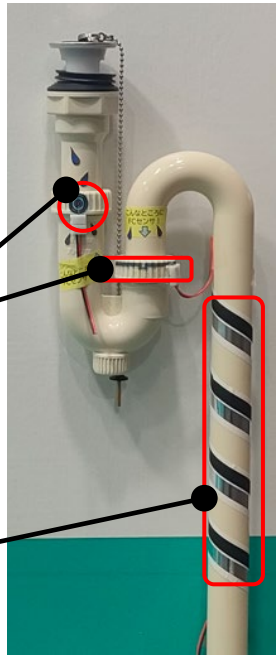
従来の
液体検知センサ素子



スクリーン印刷によるセンサ



テープタイプのセンサ



- 現状の液体検知センサをさらに『安く』・『大量に』生産することで、ターゲット市場が更に広がる『スクリーン印刷による革新製法』について現在検討中
- 長尺タイプのセンサを実現するために、テープタイプセンサを開発検討中

※すべて特許出願済み

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

新成長戦略：新規分野への投資・・・トピックス③

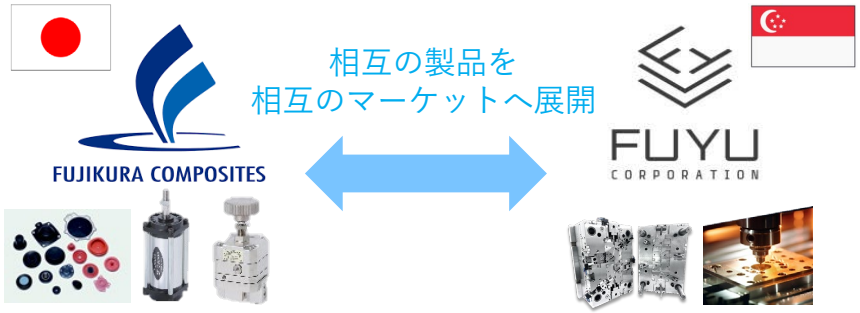
Fu Yu社との業務提携により、シナジー効果創出

- 2023年9月にシンガポールのFu Yu社と業務提携を締結
- 全社的な事業構造の変革を推進
- 相互の強みを活かし、シナジー効果の最大化

今後需要増が見込まれる製品を
日本市場で展開し
国内での新規参入を目指す

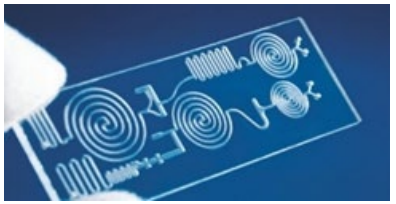
活動進捗

当社の日本市場におけるコネクションと、FuYu社の持つ加工技術を掛け合わせて生み出すシナジーで、マイクロ流路チップの市場に参入する



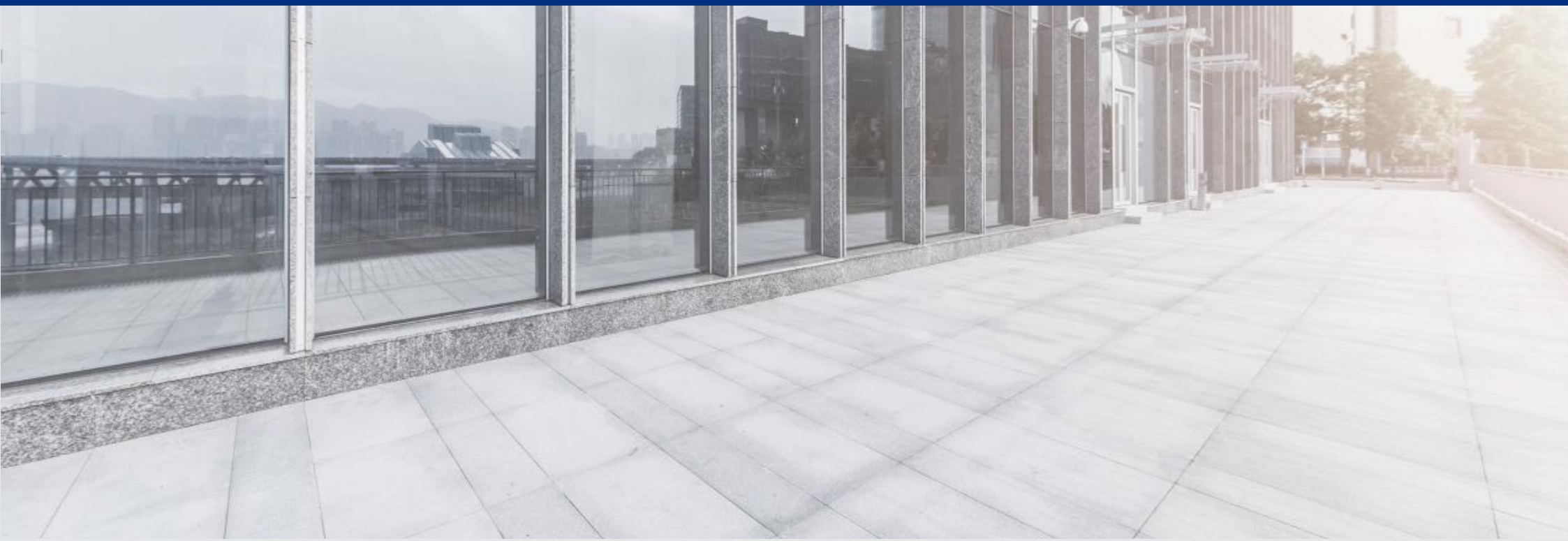
マイクロ流路チップのPOINT

- 様々な細胞分析装置向け
- 非常に繊細(μm)な加工技術が必要となる製品
- 今後、様々な用途での需要が拡大する見通し
  (例)化学分析、医療バイオ分野、環境分野、食品分野


マイクロ流路チップの写真(例)

→ 各種分析装置

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED



Ⅳ. 企業価値向上の実現に向けた取り組み

- 稼ぐ力の強化
- 新成長戦略
- **新株主還元方針**
- 投資家とのコミュニケーション向上

【 進捗状況】

FUJIKURA COMPOSITES

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

株主還元方針

株主の皆様への利益還元を充実させるため、当期の中間配当を従来の予想から
１株当たり２円上方修正し32 円に、通期では64円に増配予定

株主還元方針

株主資本配当率（DOE）

4.0%以上を目安
１株あたり年間配当額は45円を下限

配当

中間配当と期末配当の年2回

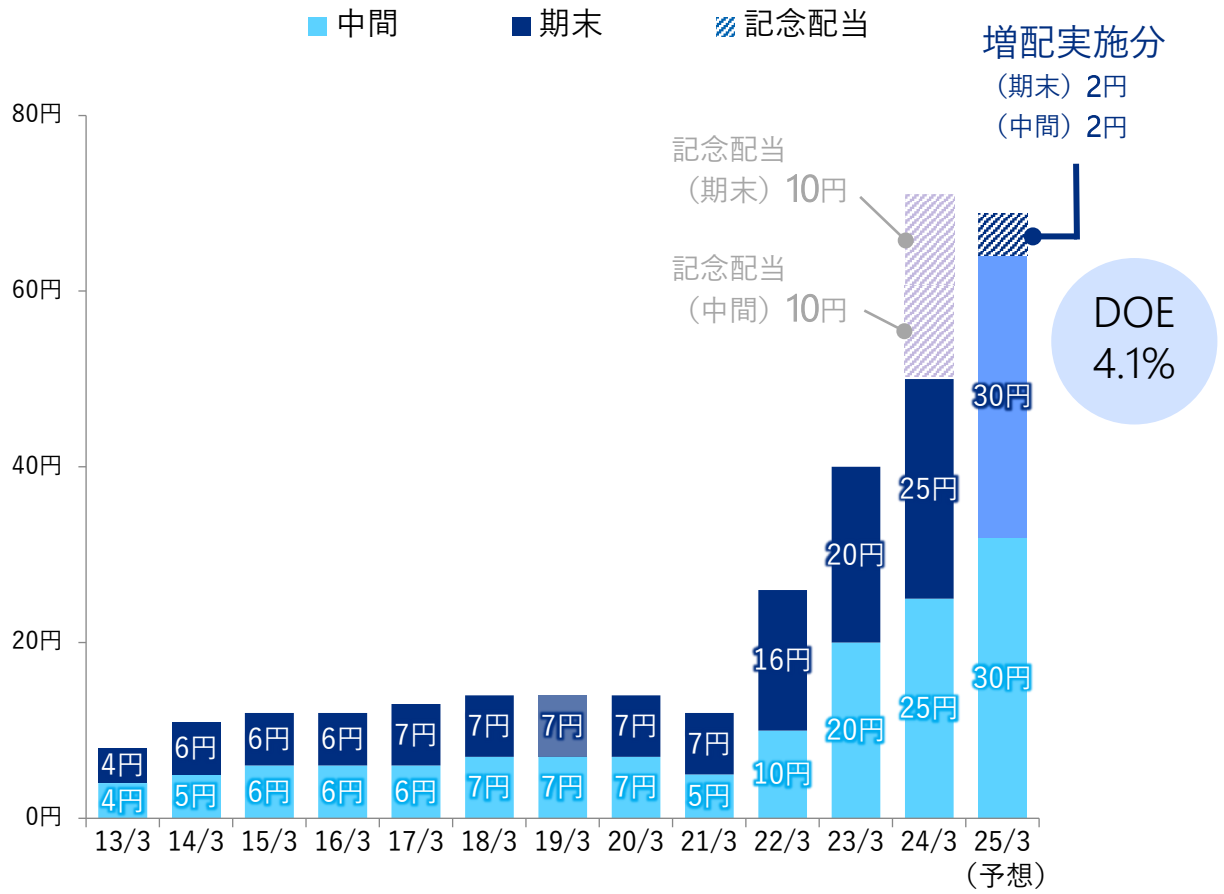
自己株式取得

資本効率株価の状況を加味して
継続的かつ段階的に自己株式の取得実施

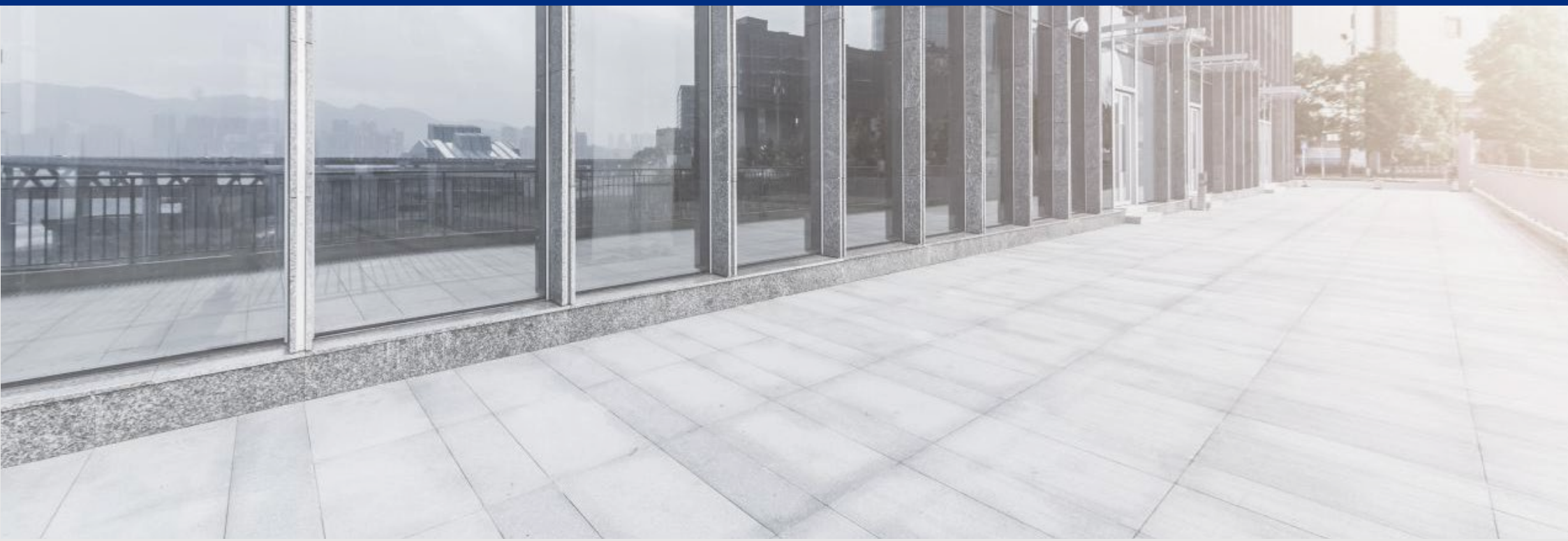
株主優待

500株以上3年以上の保有の株主に対して
長期優待制度を実施

1株当たり年間配当金の推移



Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED



Ⅳ. 企業価値向上の実現に向けた取り組み

- 稼ぐ力の強化
- 新成長戦略
- 新株主還元方針

【 進捗状況】

- 投資家とのコミュニケーション向上

FUJIKURA COMPOSITES

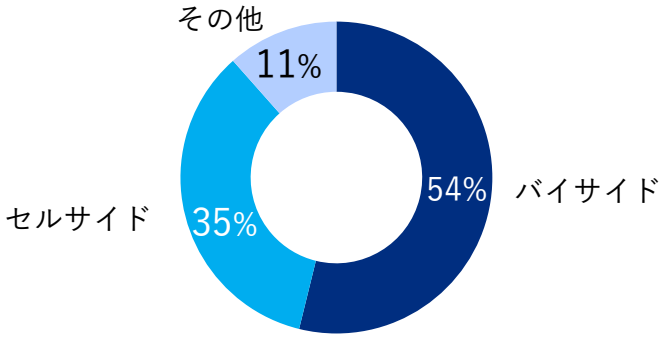
Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

株主・投資家との対話の状況

2025年3月期第2四半期（中間期）の面談の状況

種別	回数	役員の主な対応者
決算説明会	1回	代表取締役社長執行役員、取締役常務執行役員 管理本部統括
スモールミーティング	1回	取締役常務執行役員 管理本部統括
個別面談	26回	取締役常務執行役員 管理本部統括

面談した株主、投資家の概要



経営陣へのフィードバック状況

種別	頻度
IR活動状況	四半期ごと
投資家との対話の内容	面談実施時

個人投資家向けのIR説明実施を計画中

主なテーマや投資家の関心事項

- 利益率改善についての取組み
- 事業環境の動向、当社の認識
- 各事業における特性
- PBR1倍超に向けての施策
- 株主還元の強化
- 保有する自己株式について

株主・投資家との対話に基づく主な対応

- PBR1倍超の施策について教えてほしい
  ⇒本資料にて進捗を開示
- 地域別の売上高が分かりにくい
  ⇒決算短信への記載を追加、決算説明会資料にも記載を追加

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED

免責事項

【注意事項】

資料の内容につきましては細心の注意を払ってはおりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。
そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

藤倉コンポジット株式会社
人事総務部　総務広報チーム
TEL：03-5747-9444　FAX：03-5747-9781

Copyright©FUJIKURA COMPOSITES Inc. ALL RIGHTS RESERVED